

【テーマ】「備えあれば憂いなし！最前線のBCP/DRを考える ～事業継続計画、災害対策は大丈夫か！？～」

【主催】次世代情報システム検討分科会

活動報告

日時：2019年10月24日（木）13：00～17：30
場所：関西大学 千里山キャンパス
出席者：50名

1. 研究内容

今年度の次世代情報システム検討分科会では昨年度に引き続き活動テーマを「2030年のキャンパスシステムを創造する」とし、未来のキャンパスシステムを「教育」「事務」「インフラ」に分けて検討しています。

今回は関西大学の千里山キャンパスにおいて開催し、まずはじめに関西大学様より「関西大学のBCP対策の現状と課題」と題してご紹介をいただきました。次に、「なぜBCP/BCMが必要なのか ～実効的なBCPの本質と地域連携型BCPの取組み～」と題して富士通総研から事例紹介を交えた情報提供を行いました。後半においてはこれらを参考にいただき、分科会恒例のグループ討議を実施しました。

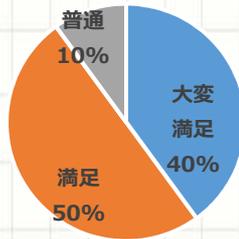
2. スケジュール

13:00～13:10	・開催校ご挨拶 関西大学 ITセンター所長 教授 柴田 一 氏 ・事務連絡等
13:10～13:55	ご紹介「関西大学のBCP対策の現状と課題」 関西大学 学術情報事務局 情報基盤グループ グループ長補佐 淵上 裕一 氏 関西大学 学術情報事務局 情報基盤グループ 主任 宮口 岳士 氏
13:55～14:05	休憩
14:05～14:50	ご紹介「なぜBCP/BCMが必要なのか ～実効的なBCPの本質と地域連携型BCPの取組み～」 株式会社富士通総研 コンサルティング本部 ビジネスレジリエンスグループ PC 大谷 茂男 氏 予定
14:50～15:10	ご紹介「ICTを活用した事業継続を考える」 富士通株式会社 ビジネスパートナー本部 西日本サービス&システムビジネス統括部 シニアマネージャー 三苫 竹臣 氏
15:10～15:20	休憩
15:20～16:10	施設見学 総合図書館ラーニング・コモンス、東体育館防災設備（災害備蓄倉庫）
16:10～17:30	意見交換会
17:45～19:15	情報交換会



3. アンケート結果について

■ 本日の「プログラム内容」について満足度をお選びください



■ 今回の分科会を、どのくらい他の人に推奨したいと思いますか？ 0(おすすめしない) ～10(おすすめしたい)



■ NPSの点を付けた理由を具体的にお書きください

- ✓ 10 関西大学の事例が聞いて良かった
- ✓ 10 最新の事例や他大学の現状、課題を聞くことができたから。
- ✓ 10 他大学事例をすることで、新しい着眼点がえられる。
- ✓ 8 BCP対策の必要性が整理できたため。
- ✓ 8 BCPに対してどの様に考えていくべきか良い話が聞いた。関大の事例はBCPについてもう少し具体的な話が聞ければ良かった。
- ✓ 7
- ✓ 7 事例紹介と講演とワークがそろっていたため。
- ✓ 7
- ✓ 7 まだBCPがなじみがないので
- ✓ 7 BCPを担当する部門にもぜひ参加してもらいたい。

■ 本日の分科会を実施して、開催テーマに対して得られた研究成果(疑問や課題等含めて)をお書きください

- ✓ BCP対策→計画(総合的)の必要性を感じました。又、大学として地域連携にも加わり、地域貢献の視点も大事にすべきと感じました。
- ✓ なぜ、BCPなのか？の根本を考えなおすことができた。
- ✓ 何を優先的にバックアップするのが良いか。
- ✓ どうしても大学に来ないといけない、有事のときの被害が大きいため、その代替が実現できればよい。
- ✓ 大学としてのBCPを定めた上で、ICTでどう実現するかの手段を考えるべきだと感じた。

■ 次回以降取り上げて欲しいテーマがあれば教えてください

・情報セキュリティ、個人情報の保護を通じて、事務方の力をUPさせるテーマ

4. 参加校 [12校23名] ・参加企業[2社27名] ・参加総数[50名]

大阪経済大学[1] 関西国際大学[1] 関西大学[10] 九州産業大学[1]	京都産業大学[1] 金城学院大学[1] 甲南大学[1] 神戸学院大学[1]	常翔学園[3] 東海大学[1] 同志社大学[1] 龍谷大学[1]	(株)富士通総研[1] 富士通(株)[26]
---	--	---	---------------------------

5. 所感

2019年度2回目の分科会は関西大学千里山キャンパスにて、50名が参加し盛大に開催されました。まず初めに、関西大学様より「関西大学のBCP対策の現状と課題」と題し講演をいただきました。その後、富士通総研より自治体や他業種での事例、また富士通より関連するソリューション等の紹介を行いました。分科会の後半においては、各大学がどのような取り組みをしているのかや今後、必要と思われる取り組みについて恒例のワールド・カフェ形式の意見交換会を実施しました。具体的に取り組んだ事例の交換や意見交換会での気づきや課題の共有は参加者にとって貴重なお土産になったことと思います。(事務局)